

津波の備えと対策

町では、昨年の3月11日に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、津波対策について再認識し、新たな対策を講じていく必要があることから、今後津波に対する意識付けの強化や防災体制の整備など、災害に備えたまちづくりを一層強めていきます。

- 洞爺湖町地域防災計画の見直し

北海道防災計画の見直しの結果を踏まえ、町の防災計画も今年度中に見直していくことにしています。

- 津波ハザードマップの作成
北海道が見直しを行った浸水予測図を基に、まちの現状を踏まえて作成します。

- 津波避難計画の作成
津波ハザードマップの作成とともに地域ごとに避難場所を設定し、避難経路も明示します。

- 防災訓練や講演の実施



公共施設などに設置した海拔表示

昨年の震災では、日常的な訓練の大切さが明らかになりました。日頃からの意識付けにより、人的被害を防いだ事例が多く見られたことから、防災訓練の実施や津波の認識を高める講演会などを開催し、平常時から防災について考える機会を作っていきます。

- 津波防災のための公共施設の海拔表示

津波対策の一環として、自分の住んでいる地域の海拔を知ってもらう狙いで、集施設、学校、町営住宅など45カ所に設置しました。

津波などの

災害時の情報伝達

津波など災害の発生が予想される場合又は災害が発生した場合の情報伝達については、次の方法でお知らせします。

津波警報などが発令された場合、消防サイレンの吹鳴、町防行政無線、広報車、エリアメール等で町民の方々に周知を行いますので、ただちに海辺から離れ、急いで高台など安全な場所に避難してください。そのためにも日頃から公共施設等の海拔表示を確認しておいてください。

浸水予測図とは

的確・迅速な避難をするため、将来発生が予想される地震による津波についてシミュレーションを行い、津波による浸水範囲を明らかにしたものです。

北海道では、北海道太平洋沿岸西部（H7～H8で整備）に係る津波浸水予測図を作成していて、現在この見直し作業を行っています。これに基づき、市町村では津波ハザードマップ及び津波避難計画を作成します。

い。

また、津波などの災害情報は、テレビ・ラジオ・町ホームページで正しい情報を得てください。

なお毎月1日と15日（休日な場合は翌日）の午後3時に防災行政無線で行政情報をお知らせしていますが、これは災害伝達ではありませんのでご理解ください。

道路の海拔表示

室蘭開発建設部では、国道37号の道路沿いの標識柱2カ所に海拔5mの位置を表示しました。表示場所は、JRとつや駅前とあぶた体育館前です。避難する場合の目安として設置したもので、避難情報と合わせて活用してください。



国道37号線沿いに設置した海拔表示